

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスとしての役割を目指すため、職員全体で確認した理念をつくりあげている。		
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	すべての職員に理念を周知徹底し、日々の業務の中で実現を目指している。数多くの関わりの中で理念の実現がなされているか確認しあうように話し合っている。		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	開所前には地域住民への説明会を行い地域小学校への運動会見学、秋祭りの出し物を招待したりして理念を理解してもらえよう取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	隣にあるうどん店や、仕出し店、みやげ物店などを利用したり、祭りのときに作った、すしを配ったりしている。また管理者は周辺の住人宅に頻繁に出かけて様子を知らせている。		
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の運動会、祭りに参加している。地域の保育所から園児が定期的に遊びに来ている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	人材育成への貢献として実習生の受け入れを行っている。開設後のあわただしさの中で、地域住民に認知症理解の勉強会などは行ってこなかった。	○	地域老人会に出かけていって、認知症理解、対応のための勉強会を開きたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価がなぜ行われるのか、その目的と意義を職員全体が理解している。自己評価は全職員が、様々な形でかかわって行っている。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	推進会議を地域の理解と支援を受ける重要な機会ととらえ、参加メンバーから真摯な意見をいただけるよう配慮している。これまで取り組んできたことも報告し、評価をいただいている。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	よりよい連携、サービス提供のために板野町担当者と推進会議以外でも、情報交換の場を持つ必要がある。	○	板野町担当者と事務的な連絡や推進会議以外にも情報交換したい。そのためには板野町関係職員の研修場所として当グループホームを利用してもらいたい。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	成年後見制度が必要な方がいなかったのも、今まで研修が十分でなかった。	○	今後成年後見制度、地域福祉権利擁護事業が必要な人が出てくると思われるので、研修に参加し、必要ときに支援できる万全の体制をとりたい。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員による虐待はあり得ないが、日々の業務の中でのミーティングで、絶えず利用者への介護のあり方を話し合っている。	○	今後、勉強会を開いて高齢者虐待防止法に関しての理解を管理者、職員とともに深めていきたい。法令遵守に向けて取り組んでいきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分な時間をとって丁寧に説明している。ケアについての考え方や取り組み、事業所としての対応可能な範囲について説明を行うことによって家族の不安疑問に答えている。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営促進会議に利用者が出席し、その際意見を出してもらっている。利用者の言葉や態度からその思いを察する努力をし利用者中心の運営を心がけている。	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者の暮らしぶり、エピソードを毎月手紙で知らせている。金銭管理は出納帳記入、現金管理を厳密に行っている。何らかの変化、問題が起きたときは、家族への連絡を細かく行っている。	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族には訪問時や家族会、地域促進会議等で、常に発言していただけるよう配慮している。意見、苦情は事業所にとって、たいせつな宝として認識している。第三者苦情処理委員を外部の方をお願いしている。	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は、職員の要望や意見を聞くように心がけている。日々の勤務の中で、職員の思いをくみ取る努力もしている。	○ 把握しきれない部分を、最小限にするためにミーティング、個別面談を定期的実施したい。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	夜勤者は日中から利用者との関係ができていく職員である。管理者は状況に応じた対応ができるように通常のシフトにいないため夜間の対応や利用者の状態の変化に応じた柔軟な体制がとれている。	
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	基本的には1階、2階の職員を固定化し顔見知りの職員による支援を受けられるように配慮している。異動や離職がやむを得ない場合も、利用者には十分説明し、ダメージを最小限にするよう配慮している。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている		
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	○	地域全体としてのサービス水準向上のために、同業者との交流会を持って、事例検討を行いたい。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	○	各職員のストレスの違いに対処するため、他事業所の職員や、地域の介護関係者との交流の場を設けるなどして、職員自身がストレスを緩和していく機会を確保したい。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	○	必ず本人に会って、本人が求めている生活や不安の確認を行い、状況を把握することで、信頼関係を築くよう取り組んでいく。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時、本人や家族の思い、状況を確認し、改善に向けた支援を提案し、信頼関係を築きながら必要なサービスにつなげるようにしている。状態により、地域包括支援センターや他の事業所を紹介している。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人や家族に事業所を見学してもらったり、事業所の生活を体験してもらったりして、生活が安定するのを見極めて利用に移行している。急な利用の時は、ご家族と一緒に生活してもらい、安心感を持ってもらうようにしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者は人生の先輩であるという考えを職員が共有しており、普段から入居者に教えてもらったり、そういう場面もてる様工夫や声かけに配慮している。又、入居者本位の生活が支援できるよう、職員は常に傾聴・同調・共感の気持ちで接していけるようゆとり持って対応にあたっている。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	職員は家族の思いに寄り添いながら、生活の中での出来事や気づきを共有し、職員が対応に困った時は、電話や面会を依頼するなど常に連携を取り、本人と一緒に支え、家族と同じ思いで支援している。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人の家族への思い、家族の本人への思いを受け止めて両者の思いが結びつく様心がけている。また、本人の日頃の状態を面会時や電話でこまめに報告・相談を行っている。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居前に利用していたデイサービスへ出かけ、馴染みの知人や友達と交流している。又ご近所にドライブへ出かけ馴染みの景色を楽しんだり、お寺へお参りをしたりしている。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	毎日の食事やおやつ時間は職員も一緒に会話を持つようにしたり、役割活動を通して入居者同士の関係が円滑になるよう努めている。また、個別に話を聴いたり、相談に乗ったりして、入居者同士の関係がうまくいくように、職員が調整役となって支援している。	○	最近、ほとんどの入居者に認知症状の進行がみられ、認知度の格差がひどくなっている。入居者同士がうまくつきあい、助け合っていけるよう職員は、入居者の状態の把握、情報の共有を行い調整役となっていけるよう話し合いの場を常に持って支援に当たりたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	入院した方には、行事があることをお知らせしたり、健康状態の確認の手紙を出している。また、家族からの相談に乗っている。(他事業所に移られた方への取り組みは行っていない。)		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々のかかわりの中で声をかけ、把握に努めている。本人の発言や表情から、本人にとって、どこで、誰と、どのように暮らすことが最良なのか、常に意見を出し合い話し合っている。必要に応じ、家族とも連絡を取り合っている。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居申込時に本人や家族、担当ケアマネから情報を聞き取り、入居後もご本人・ご家族からどんな生活をしてきたか聴いている。また、本人自身の語りや家族・知人等の訪問時などから把握に努めている。	○	生活歴や既往歴の聞き取りが十分できていない方もある為、家族の面会時等を利用し、確認していく。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人ひとりの生活リズムを理解するとともに、行動や発言からその人の全体の把握を行い、できている事の継続ができるよう努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居者が自分らしく過して頂けるよう日々のかかわりの中や担当者会議等で本人・家族の要望を聞き、モニタリングやカンファレンスを行い、課題となることを話し合い、介護計画に活かしている。	○	担当者会議に必ず家族が参加できるよう開催日時を検討したい。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月、ご家族から新たな要望や意見がないか、話し合っている。状況が変化した際には、終了する前であっても検見直しを行うようにしている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別にファイルを用意し、食事・水分量・排泄等身体的状況及び日々の暮らしの様子や本人のことば、エピソードを記録し、勤務開始前の確認を義務付け、又個別記録を基に介護計画を見直し評価を実施している。大きな状態の変化や家族からの要望は申し送りノートに記載している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人、家族の状況に応じて通院や送迎等の必要な支援を柔軟に対応している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進会議を通して老人会や婦人会にボランティアの協力を依頼しているが、実施に至っていない。警察や消防とは連携を取っている。小学校の運動会や町主催の行事に参加している。	○	本人と地域とのさまざまな接点を見つけ、地域行事等に参加、馴染みの場所に出かけるなど、ボランティア等の協力や理解を働きかけたい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	小学校の運動会や町主催の行事に参加している。図書館から本やCDを借りている。同法人の運営するデイサービスの行事や慰問に招待を受けている。月2回、訪問理容サービスを利用し、希望があれば近所の美容院に出かけている。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に参加して頂き、協力を得ている。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人やご家族が希望するかかりつけ医となっている。また、受診や通院は本人や家族の希望に応じて対応している。基本的には家族同行の受診となっているが、不可能な時は職員が代行しており、入居契約時にその旨を説明し、同意を得ている。協力病院の担当医が週1回訪問してくれ、入居者は医療や生活の心配事を相談している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	普段は協力医院の担当医に相談し、支持や助言を受けている。必要に応じ、担当医の指示で地域の専門病院を受診している。		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	協力医院が隣接しており、気軽に相談できる関係が出来ている。連携も密にとれており、日々の健康管理や相談・助言等の対応をして頂いている。		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時には、本人の情報提供を行い、職員が見舞うようにしている。又、家族への連絡を行い、早期に退院できるよう回復状況の確認を行っている。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化に伴い、事業所が対応し得る最大のケアについて、家族と担当医を交え、話し合いの場を持っている。状態の変化があるときは、その都度家族に連絡を行っている。		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度化に伴い起こり得るリスクを把握し、安心・安全な暮らしをして頂けるよう職員全体で話し合い、家族や担当医と連携を取りながら、支援している。		
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	他の事業所に移られる場合は、必要な情報提供を行っているが、当日になることが多い。	○	事前に他の事業所の担当者と話し合いを行い、これまでの暮らしに継続性が損なわれないよう連携を心がけたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	接遇マナー等の勉強会や日々のミーティングの折に職員の意識向上を図り、入居者の誇りやプライバシーを損ねないような対応の徹底を図っている。	
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>行事計画や食事メニューを作成するとき、意見や希望を尋ねているが、決定する事は少ない。意見の多い方は職員が決めていることが多い。</p>	<p>○</p> <p>毎日の飲み物は複数選択肢を提案し、一人ひとりが自分で決める場面を持てるよう現在取り組んでいる。食事も複食献立などで選択できる機会を検討していきたい。</p>
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>基本的な1日の流れは持っているが、時間を区切った過し方はしていない。1人ひとりの状態や思いに配慮しながら、その日、その時の気持ちを尊重し、買い物や散歩等、柔軟に対応している。</p>	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>朝の着替えは、基本的に本人の意向で決めており、職員は見守りや支援が必要ときに手伝うようにしている。本人馴染みの美容院へ行き、カットやパーマをしている。</p>	
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>畑で育てたトマト、イチゴ、ネギを楽しみながら採取し、食材の準備をしている。食事メニューは、入居者に食べたい物の意向を聞いているが、食事一連の流れは、職員が行うことが日課となっている。体調の良い時のみ、下準備や片づけをしてくれる入居者がいるが、在宅で生活していた時から、何もしていなかった方がほとんどで興味を示さない。</p>	<p>○</p> <p>一連の作業の中で、入居者個々の力を発揮できることを見つけ、生活のハリや楽しみ、心身の安定や維持向上につなげていきたい。</p>
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>職員は一人ひとりの嗜好物を理解しており、一緒に買い物に出かけおやつは居室で個々が少量管理している。お酒やたばこを嗜好する方はいない。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	本人の排泄リズムを把握し、声かけやトイレ誘導を行い排泄を促している。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴したい日、希望する時間に入浴して頂けるよう努めている。仲の良い方同士は、一緒に入ることもあり、楽しんで頂いている。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	1日の生活リズムにより個別に休息して頂いている。体操やレク参加などなるべく日中の活動を促し、生活リズムを整えるよう努めている。就寝薬に頼る方もいる。	○	日中の生活の不安を和らげ、穏やかに安心した時間の過ごし方を検討し、就寝に向けリズムが安定するよう工夫していきたい。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯たたみなど、できそうなことを頼み、感謝の言葉を伝えている。梅干作りや編み物等の経験や知識を発揮する場面を作っている。はるかぜ会議を開催し、外出先や行事を相談しながら行っている。	○	その方の生活歴を把握し、経験や知識を日々の生活の中で発揮し、楽しみや張り合いがもてる暮らしになるよう取り組んでいきたい。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	少額のお金を自己管理している。家族の協力を得、紛失しても良い金額にしている。買い物は、職員と一緒にレジに並ぶが、計算能力の低下から財布を職員に渡し支払いをしている。	○	自分で支払いすることで社会性の維持ができるよう支援したい。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物以外に入居者からの希望は少なく、職員が入居者の気持ちを察し、散歩やドライブに出かけているが、職員側の都合を優先し、その日に対応できないことがある。通院の希望は、その都度対応している。	○	ホーム内の生活が続き、ストレスが溜まらないよう家族の協力やボランティアの依頼を検討している。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	季節感を感じて頂けるようグループで季節の花を見に行ったり、外食したりしている。対応できないときは、家族に連絡させて頂いている。はるかぜ会議や家族会で行きたい場所の計画を立て、家族と一緒に出かける機会を検討している。	○	家族と出かける秋の日帰り遠足を計画している。職員で対応できない意向は、今後も家族に協力を得て行く。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	年賀状や暑中見舞を出す為の支援をしている。入居者の依頼があれば、日常的に電話ができるよう支援している。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問者が気軽に来やすい雰囲気づくりを心がけ、都合のいい時間帯にいつでも訪ねて来て頂けるよう配慮している。居室で一緒にお茶を楽しみながら過ごして頂いている。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の勉強会は、実施しているが、基本的に身体拘束は行わない。開所以来身体拘束の対象者はいない。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室の鍵は、かけていない。玄関においては、急な階段と一歩外は国道で車量も多く危険であり、職員の見守りが十分できない為、鍵をかけている。入居時にご家族に説明を行い、了解を得ている。	○	入居者の安全を確保しながら日中鍵をかけない工夫ができないか検討していきたい。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員は入居者と同じ空間で事務作業等を行いながら、全員の状況を把握するよう努めている。夜間は定期的に巡回し入居者の状態確認をしている。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	基本的に危険物の持ち込みは、禁止としているが、すべてを取り除くようなことはなく、入居者の状態の変化を観察し、注意している。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ヒヤリハットを記録し、職員の共有意識を図っている。万一事故発生の場合には、事故報告書を作成し、事故原因の今後の予防対策について検討し、家族への説明報告を行っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	事故発生マニュアルを整備し、勉強会を行っている。消防署の協力を得て、救急手当やADEの使用方法などの訓練を行っている。月1回何らかの訓練を実施しようと計画している。	○	すべての職員が適切な対応できるよう繰り返し実施していきたいと考えている。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の訓練を実施している。緊急連絡網を整備し、夜間の通報訓練や消防署の協力を得て非難訓練・消火器訓練を行っている。		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	状態の変化に気づいたときやリスクが高くなってきた時は、必ずご家族に連絡を行い確認して頂いている。その上で、その人らしい暮らしが継続できるよう話し合っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	普段の状況を把握しており、状態の変化が見られた時は、バイタルチェックを行い変化時の記録をつけている。状況によりかかりつけ医の診察を受け、家族に連絡している。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お薬指示確認簿で服薬状況を確認している。わかりにくい為、現在服薬ファイルを整備し、職員が薬の内容を把握できるよう作成中である。	○	全職員が薬の内容(目的、用法、用量、副作用)を把握できるよう、個別の服薬ファイルを作成し、勉強会を実施していきたい。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	運動や水分量のチェックは行っているが、働きかけは十分できていない、服薬に頼る方が多い。入居時にご家族から服薬状況を確認し、継続して服薬している方が大半である。	○	服薬に頼らず、食材の工夫や運動を働きかけることで自然な排便ができるよう取り組んでいく。ひどい便秘時は、医師との連携を図り対応している。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	職員は勉強会で口腔ケアの重要性は理解している。在宅での習慣をそのまま行って頂いており、一人ひとりの能力に応じた歯磨きや入れ歯の手入れをしている。職員からの働きかけは、十分でなくケアが不十分な方もいる。	○	歯磨きや入れ歯の手入れを個別に働きかけ口腔内の清潔保持を支援していきたい。同法人のデイサービスで訪問歯科相談に参加したい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取状態を毎日チェック表に記録し、職員が情報を共有している。摂取量の少ない方には、必要に応じてかかりつけ医からお話をしている。	
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症マニュアル、ノロウイルスマニュアルを作成し、勉強会を実施している。早期発見、早期対応に努め、入居者及び家族の同意を頂き、職員と共にインフルエンザの予防接種を受けている。玄関にマスクや手指消毒剤を置き訪問者からの感染予防を行っている。ノロウイルス対策として、手指消毒や食品の加熱処理を行っている。	
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理器具は、熱湯消毒を行い、まな板やふきんは、その都度漂白し清潔保持に努めている。食材の管理は、ほとんどが厨房委託している業者が管理している。購入時は、新鮮で安全な物を選び、冷蔵庫の食材チェックを頻繁に行っている。	
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり			
(1)居心地のよい環境づくり			
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関や駐車場にプランター、花壇を設置しており、季節感が味わえるよう工夫している。椅子の設置もしており四季花を楽しんでいる。国道に面している為、地域の方から「いつもきれいな花が植わり、散歩していて、ほっとする。」と言う声がある。	
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下やリビングのカーテンの色を変え、壁に地域の方が撮った写真を飾ったり、季節感のある作品を入居者と共に作り掲示している。又茶碗を洗う音、ご飯の炊けるにおい、心地よい音楽、季節感が味わえる料理や飲み物を工夫している。	
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下にソファを置き、一人で過ごしたり、仲の良い入居者同士がくつろげるスペースを作っている。テーブルに小さな観葉植物を置き、成長を楽しんでいる。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使いたないタンスや椅子以外に、時計やテレビ、ぬいぐるみ、家族の写真を持ち込み、居心地のよい環境を工夫している。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	清掃時、一定時間の換気を行い、空気入れ替えを行い、P-WC使用者は、消臭剤を使用している。冷暖房は、その方の能力に配慮し、自己管理できる方には調節器を渡しているが、職員が状態により本人了解の上調整している。居室はその方の体調に合わせ、共同の場合は、こまめに温度調節している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者の状態にあわせて、手すりや浴室、トイレ、廊下などの住宅環境が適しているかを見直し、安全確保と自立への配慮をしている。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	本人にとって「何がわかりにくいのか」「どうしたら本人の力でやっていただけるか」を追求し、環境整備に努めている。状態が変わり、新たな混乱や失敗が生じた場合は、その都度、職員で話し合い、本人の不安を取り除けるよう努めている。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	庭に花を植えたり、畑のスペースを確保し、入居者が楽しみながら活動できるよう環境を作っている。又ベンチを置き、日向ぼっこできる工夫をしている。	○	花を見ながら、お茶会ができるスペースを検討している。

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように
		<input type="radio"/>	②数日に1回程度
		<input type="radio"/>	③たまに
		<input type="radio"/>	④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている
		<input type="radio"/>	②少しずつ増えている
		<input type="radio"/>	③あまり増えていない
		<input type="radio"/>	④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が
		<input type="radio"/>	②職員の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③職員の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	②家族等の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③家族等の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

入居者の大半が事業所周辺の方で、又、職員も地元が大半である。この関係が入居者と安心できる人間関係が維持できている。職員の思い込みや先入観を配慮し、問題となる行動でも、その方にとっての事実を正確に受け止め理解し、その人らしい生活ができるよう、理念である「笑顔で語り支え合う安心な暮らし」を意識化し、実践しているよう取り組んでいる。又、どの方も個性と自己主張が強く認知症状が進行し、共同生活で強調していく事が苦手となっていく中で、それぞれの個性・主張を尊重し、個別対応に取り組んでおります。